



1. 中尊寺新覆堂前での消火訓練
2. 敬礼をして規律を正す町消防団
3. 功労表彰を受ける団員
4. 各自主防災会も堂々と行進
5. 整然と並ぶ消防車両



世界の至宝を守る 文化財防火訓練

平成25年文化財防火訓練が1月27日、中尊寺と毛越寺で行われました。昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である奈良法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したのをきっかけに1月26日が文化財防火デーと定められました。本町では毎年1月26日に近い日曜日にこの訓練を実施しています。

訓練は午前8時30分、中尊寺旧覆堂北側付近で第1火災が、また午前9時20分に毛越寺厨房で第2火災が発生したと想定。演習指令が出されると、町消防団などから約250人が出動し、機敏な動作で建物を水幕で包みました。また平成22年に、町消防団第1分団に配備された消防多機能車の装備を活用し、負傷者救助や倒木除去など実践さながらの訓練も行われました。訓練後には、中尊寺第2駐車場などで分列行進と消防出初め式が行われ、行進では、早朝から訓練を実施した消防団のほか、町消防婦人協力隊や行政区の自主防災会、文化財愛護少年団や長島少年消防クラブが加わり、冷たい風が吹く極寒の中、力強い行進を見せました。式典では、菅原町長の告辞に続き、

一関市消防本部の平野和彦消防長が「いずれの訓練も真剣に取り組んでおり、防火の意識と高揚を図る素晴らしい訓練でした」と講評を述べ、文化財を火災などの災害から守る文化財愛護の意識を高めました。また出初式では、観閲や町長告辞、団長訓示に引き続き、団員の定例表彰などが行われました。表彰された方々は次の通りです。(敬称略)

【町長表彰】

- ▽功労章(勤続20年) 千葉勉(第2分団) 佐々木福雄(同)
- ▽功績章(勤続15年) 佐々木直久(第1分団) 佐藤牧人(同) 千葉孝喜(同) 佐々木清(第7分団) 三浦光生(第8分団)
- ▽勤続章(勤続10年) 鈴木孝(第1分団) 佐々木将信(同) 阿部清一(第2分団) 高橋雅智(第4分団) 小野寺修(第5分団) 千田浩義(第7分団) 浅利清廣(第8分団)

【精練章】齋藤守、菅原和也、鈴木佑介、菅原勉、今野晋一、小野寺淳

(以上第3分団) 葛西菊夫、青木慶、三浦一志、小野寺栄悟、千葉俊治(以上第9分団)

【団長表彰】

- ▽無火災特別表彰(地域内で過去5年以上無火災) 第5分団、第5分隊
- ▽消防施設管理優良分団 最優秀賞 第1分団 優秀賞 第8分団 努力賞 第9分団

6. 告辞を受ける婦人消防協力隊
7. 消防団員による負傷者救助訓練
8. 実践さながらの消火訓練



財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業であるコミュニティ助成事業を活用して、2団体に防災用資機材を整備しました。今後これらの資機材を活用し、コミュニティ活動のさらなる活性化を図っていきます。

防災資機材を 宝くじ助成金で整備

■第19区自主防災会

第19区自主防災会では、ワンタッチテント、毛布、災害用トイレ、災害用かまど、スコップなどの防災資機材を整備しました。整備された資機材は、地域の防災・減災活動に活用されます。



第19区自主防災会に整備された防災資機材

■平泉町婦人消防協力隊

平泉町婦人消防協力隊では、軽可搬ポンプ一式と訓練用標的、組み立て水槽を購入しました。今後、非常時に迅速に使用できるよう各種訓練や講習会などに活用されます。



町婦人消防協力隊に整備された軽可搬ポンプ